

「21世紀は統合の時代  
専門家を統合する」ことが中小企業診断士の役割

中小企業診断士  
浜田 悟 先生



中小企業診断協会 東京支部  
中央支会 常任理事  
中小企業診断士 浜田 悟 先生

昭和29年3月22日生まれ。昭和51年3月立教大学社会学部卒業後、平成13年に中小企業診断士登録。現在は中小企業診断協会東京支部中央支会の常任理事に就任中。さいたま市浦和区にオフィスを構え、関東一円と広範囲にわたり各種研修、中小企業を中心とした総合的コンサルティング、趣味でもあるアウトドア事業を行っている。

### PROFILE

連載企画「今月のプロフェッショナル」(士業特集)の第二回は、弊社のビジネスパートナーである、中小企業診断士の浜田悟先生をインタビューしました。

#### 1. 浜田先生が考える「プロフェッショナル」像とは？

私が考えるプロフェッショナルの条件は6つあります。この6つに関しては、私自身が仕事をしていくうえで、「こうなりたい」と、常に目標として掲げているものです。

##### ①「いつでもどこでも結果を出すこと」

お金を頂く限り、これはどの職業においても当てはまることであると考えています。

##### ②「高い目標を持っていること」

例えばオリンピックの選手は一般的にはアマチュアと呼ばれますが、その中には世界記録を目指す人、世界一を目指す人がいます。まだプロと呼ばれない高校球児の中にも最終的な目標である大リーグに行くために甲子園を目指すこと、その先のプロ野球をステップとして目指している人がいます。

いずれにしてもそれはプロ意識そのものであると思います。

##### ③「設定した目標に対するプロセスを持ち、それを実行していること」

決してなげやりにならずに、目標に向かって一つ一つ課題をクリアして進んでいくことが大事であると思います。

##### ④「努力を怠らないこと」

目標達成のためには、繰り返しの努力が必要であると考えます。野球に例えると、試合中の一つのプレーの中における「一球」、攻撃でも守備でも、このたった「一球」を逃さないために、どれだけ努力をしてくれているかが問われるのであると思っています。私自身に置き換えてみると、世の中の時流を常につかむために、本を継続して読むようにしています。またIT化への動きも常に早い段階でそのツールを取り入れるように意識しています。

##### ⑤「臨機応変に対応すること」

人の表情や周囲の状況に目を配り、考え、行動を変えていくことができる。また、客観的な見方ができるということも求められます。

##### ⑥「常にモチベーションを維持すること」

「何かをやる」という時に、その意識がどこから生まれてくるのか、その源泉を明確にすることが大切です。それがお金である人、地位や名誉である人といったようにそれぞれです。私の場合は「人に感謝をされること」、これが一番のモチベーション維持の源泉であると自分自身で認識しております。よく人に「欲がない」と言われますが、これはどんなに精進してもずっと変わることはないと思います。以上ですが、冒頭でも申し上げましたように、できているかは別にして、「こうなりたい」という私の目標です。また、余談ですが里見八犬伝の八犬士が持つ仁義八行の玉の文字が好きで常にその教えも参考にしています。



※先生が大事にしているもの「徳がある人には人が集まる」

仁、義、礼、智、忠、信、孝、悌  
忠義、親子関係等。これらが積み重なっていくと、徳がついていく。

